

リスクモンスター株式会社

(東証JASDAQ上場 : 3768)

2015年3月期 第2四半期 決算補足資料



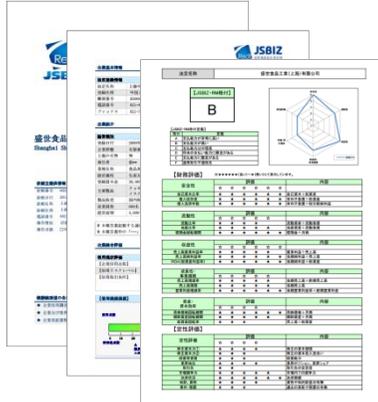
2014年11月12日



目次

1. 2015年3月期 第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】書籍のご紹介 (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『JSBIZ信用調書』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『Pontaポイント』連携のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『DMの助』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『J-MOTTO 新グループウェア』のご紹介 (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.29)
9. その他サービス 業績 (P.10)	
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	
11. 連結貸借対照表 (P.12)	
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念とビジョン(P.16)	
16. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2015年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 株主のための施策 ① (P.20)	
20. 株主のための施策 ② (P.21)	

中国企業の信用調書に「RM 格付」を付与した『JSBIZ 信用調書サービス』提供開始



新刊
「取引先リスク管理Q&A」
出版



RMサービス「枝番自動発行」機能追加

「攻めモンスター」検索機能のリニューアル

企業実務サポートサービス「わかったランド」機能追加

ダイレクトメール発送機能付き
新規開拓リスト作成サービス
「DMの助(ディーエムのすけ)」の提供開始



新刊
「与信管理奮闘日記2」
出版



「クラウドコンピューティングEXPO」出展



「Ponta」の株式会社ロイヤリティ マーケティングと提携
「Pontaポイント」提供開始

クラウド型請求書発送代行サービス「請求の助」機能追加

「名館長V」新サービス「Web検索マイページ機能」追加

「日中ものづくり商談会@上海2014」出展



「サイバックスUniv.」に新たにeラーニングを提供開始

J-MOTTO 新グループウェアの提供を開始

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	1,236,886 千円	1,346,699 千円	109,812 千円	108.9 %
営業利益	130,126 千円	140,057 千円	9,931 千円	107.6 %
経常利益	137,258 千円	150,064 千円	12,806 千円	109.3 %
四半期純利益	76,530 千円	95,806 千円	19,276 千円	125.2 %
1株当たり四半期純利益	19.44 円	23.12 円	3.68 円	118.9 %
会員数	9,608 ID	9,765 ID	157 ID	101.6 %

◆売上高

ASP・クラウドサービスが堅調に推移したこと、
BPOサービスが回復基調にあることや大型案件がスタートしたこと等により、
順調に推移。

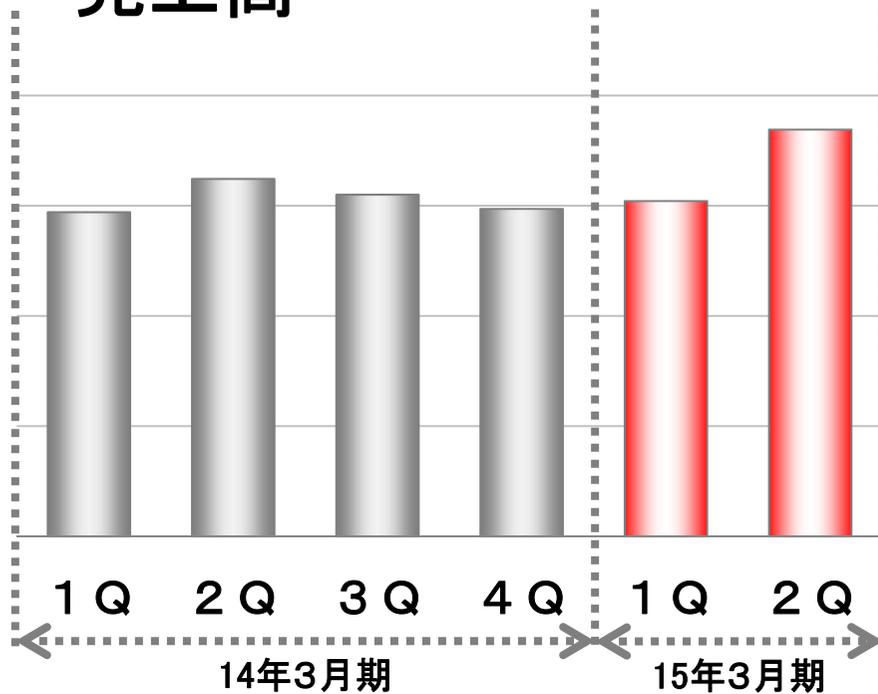
◆利益

利益率の高いASP・クラウドサービスの売上高が堅調に推移したことや、
前期に実施した先行投資の効果等もあり、前年同期、当初の予想をともに上回る。

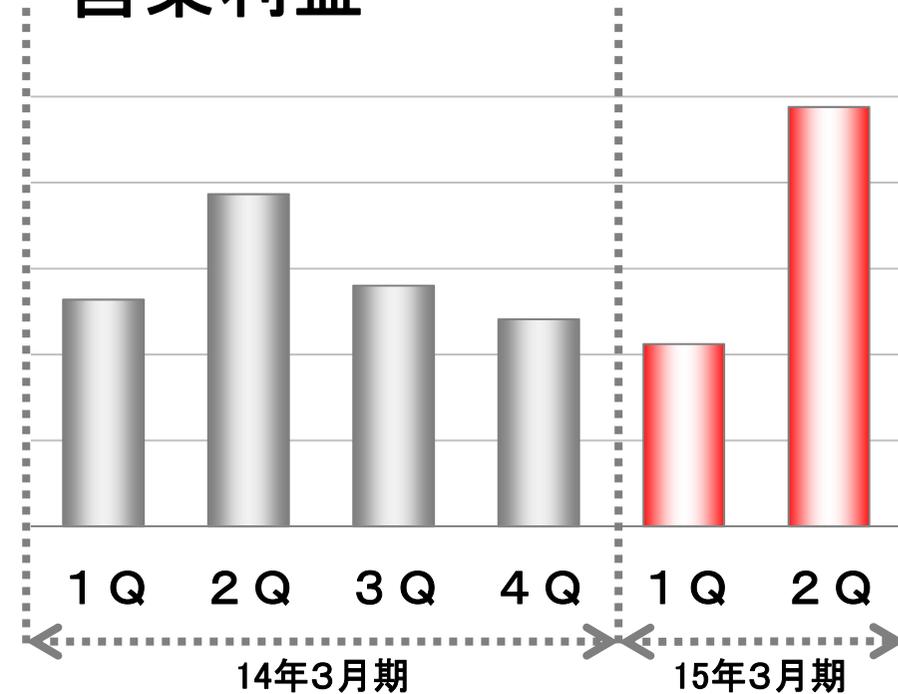
(単位：千円)

	2014年3月期				2015年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	588,235	648,650	620,050	594,251	608,493	738,205
営業利益	52,797	77,328	56,045	48,213	42,452	97,605

売上高



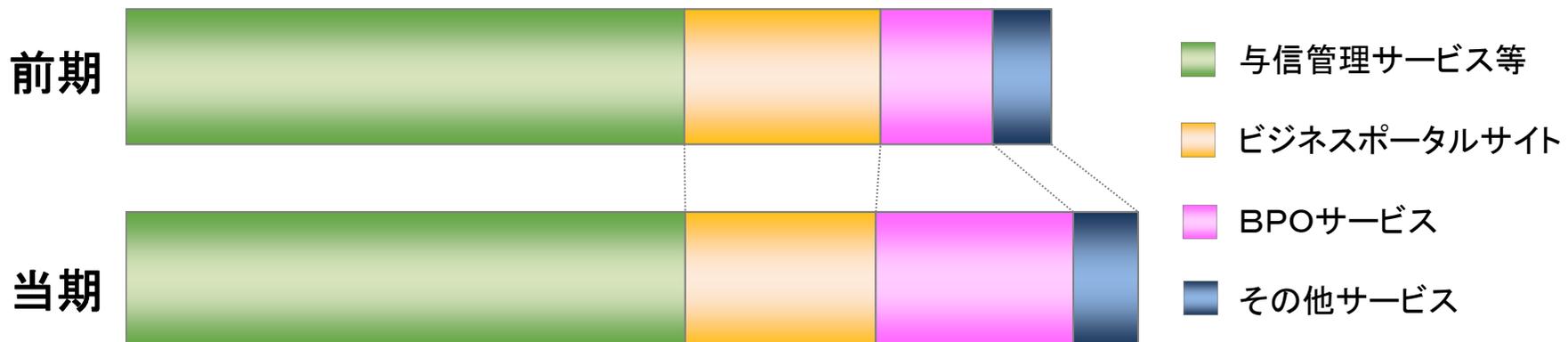
営業利益



（単位：千円）

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	768,319	769,435	1,116	100.1%
ビジネスポータルサイト	269,796	262,138	△7,658	97.2%
BPOサービス	154,527	271,810	117,283	175.9%
その他サービス	80,590	89,256	8,665	110.8%
調整額（注）	△36,346	△45,941	△9,594	—
売上高 計	1,236,886	1,346,699	109,812	108.9%

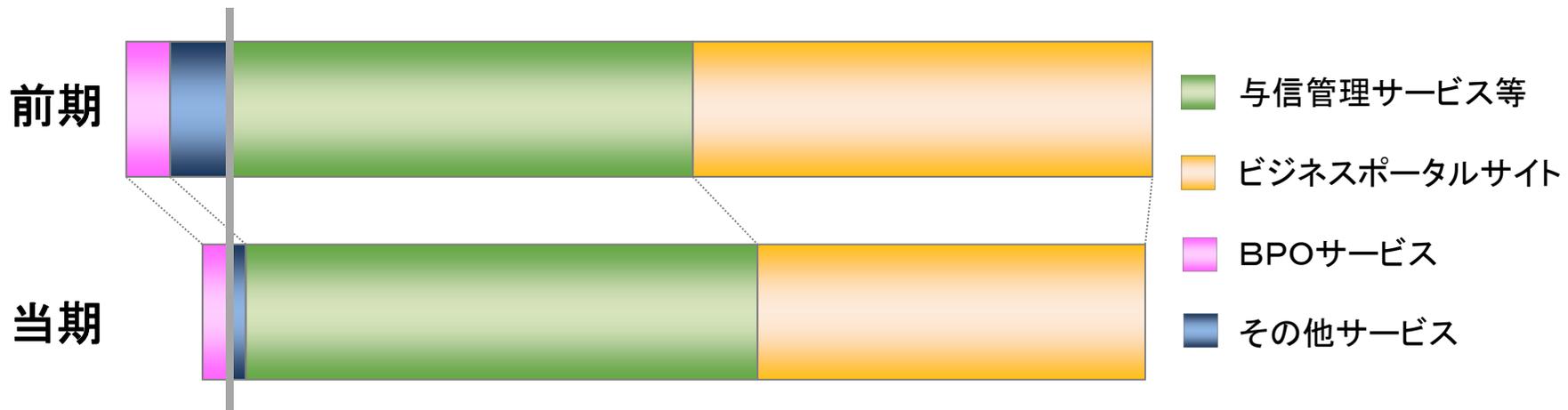
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	75,508	83,412	7,904	110.5%
ビジネスポータルサイト	74,908	63,198	△11,710	84.4%
BPOサービス	△7,133	△4,433	2,699	—
その他サービス	△9,735	2,631	12,366	—
調整額（注）	△3,421	△4,750	△1,329	—
セグメント利益 計	130,126	140,057	9,931	107.6%

（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



(単位：千円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	644,610	646,564	1,953	100.3%
コンサルティングサービス (注2)	123,708	122,871	△836	99.3%
売上高 計	768,319	769,435	1,116	100.1%
セグメント利益	75,508	83,412	7,904	110.5%
会員数 (ID) (注3) (内、提携会員数)	4,770 (1,708)	4,892 (1,760)	122 (52)	102.6% (103.0%)

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) ポートフォリオサービス及び金融サービス等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

- ・既存の取引先企業を管理するサービスの利用件数が低調だったものの、新規の取引先企業を分析するサービスの利用が好調だったことに伴い、ASP・クラウドサービスはほぼ前年同期並み。
- ・コンサルティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注単価が上がったものの、受注件数が前期ほど伸びず。一方で、金融サービス等を含むその他の売上高が増加。
- ・利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したことと、前期に実施した先行投資の効果等によってセグメント利益が順調に推移。

(単位 : 千円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	241,434	236,165	△5,269	97.8%
その他 (注2)	28,361	25,972	△2,388	91.6%
売上高 計	269,796	262,138	△7,658	97.2%
セグメント利益	74,908	63,198	△11,710	84.4%
会員数 (ID) (注3)	3,471	3,221	△250	92.8%
ユーザー数	128,175	123,573	△4,602	96.4%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

- ・大口ユーザーの退会があったものの、ディスク容量の利用が堅調に推移し、売上高は前年同期と比べ微減。
- ・固定費の削減を目的にデータセンターを移転し一時費用を計上したこと等から、セグメント利益は前年同期を下回る。



8.BPOサービス 業績

(単位 : 千円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	154,527	271,810	117,283	175.9%
売上高 計	154,527	271,810	117,283	175.9%
セグメント利益	△7,133	△4,433	2,699	—

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが回復基調にあることや、大型案件がスタートしたこと等により売上高が前年同期に比べ増加。

(単位：千円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	80,590	89,256	8,665	110.8%
売上高 計	80,590	89,256	8,665	110.8%
セグメント利益	△9,735	2,631	12,366	—
会員数(ID) (注)	1,367	1,652	285	120.8%

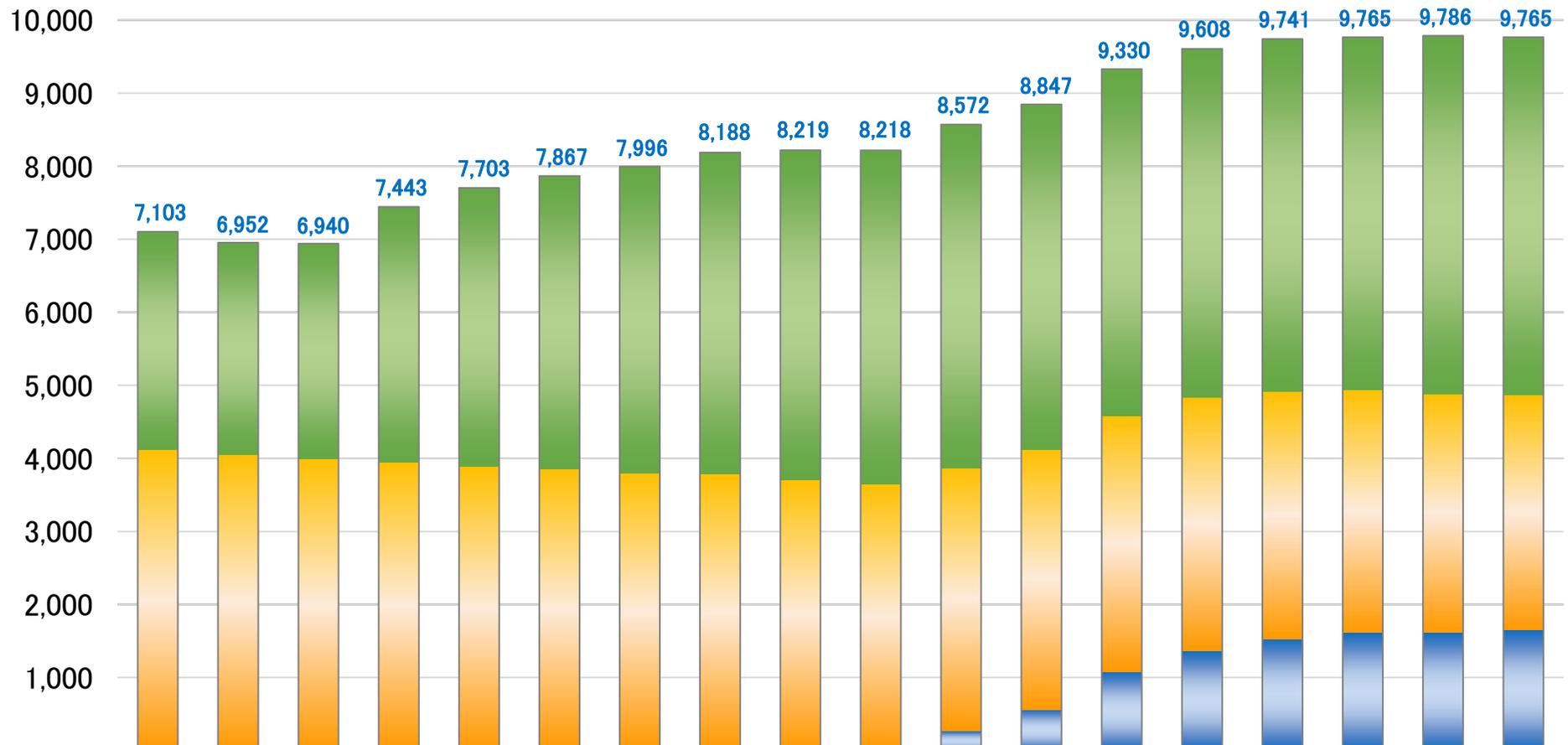
(注) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

- ・教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が866会員となり、堅調に推移。
- ・利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は786会員。



10. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



	2010年			2011年				2012年				2013年				2014年		
	6月	9月	12月	3月	6月	9月												
■ 与信管理 サービス等	2,985	2,895	2,947	3,488	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892
■ ビジネス ポータルサイト	4,118	4,057	3,993	3,955	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221
■ その他 サービス (注2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652
会員数 計	7,103	6,952	6,940	7,443	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765

(注1) 上記は重複登録している会員が一部おります。

(注2) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

(単位：千円)

	2014年3月期	2015年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	3,026,662	3,080,122	53,460	101.8%
固定資産	1,120,481	1,168,010	47,529	104.2%
資産合計	4,147,143	4,248,133	100,989	102.4%
流動負債	313,281	387,866	74,584	123.8%
固定負債	41,305	56,015	14,710	135.6%
負債合計	354,586	443,881	89,294	125.2%
純資産	3,792,556	3,804,251	11,694	100.3%
負債・純資産合計	4,147,143	4,248,133	100,989	102.4%
自己資本比率	90.3%	88.3%	—	—
1株当たり純資産	891.16円	922.26円	31.10円	103.5%

自己資本比率は88.3%と高水準を維持。

リスクモンスターグループ の評価 (東証JASDAQ:3768)

【RM財務格付】

2015年3月期
第2四半期

I

【RM財務格付定義】

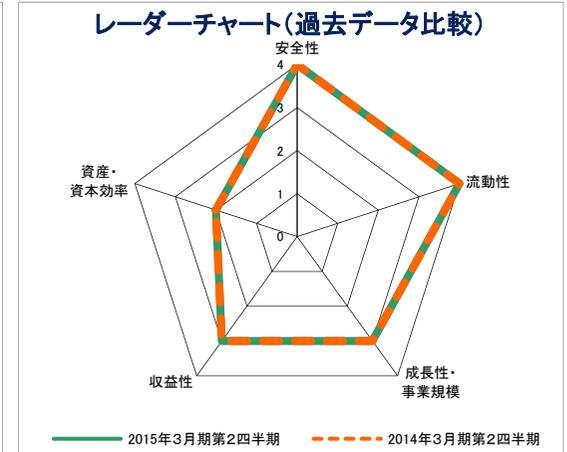
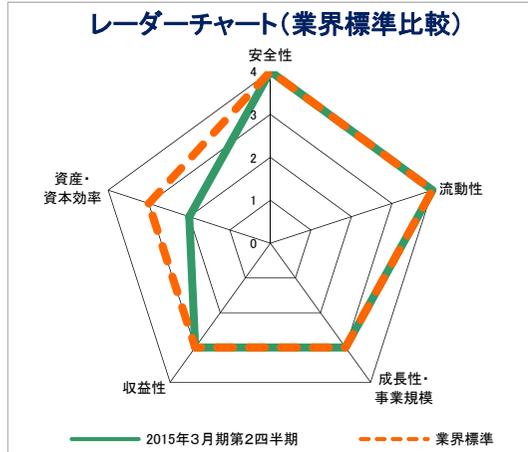
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2015年3月期 第2四半期	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
I	I	I	I
2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期
I	I	I	I
2007年3月期	2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期
I	I	I	I



安全性	2015年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
	2014年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率		
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2015年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
	2014年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2015年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
	2014年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆	

成長性・事業規模	2015年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
	2014年3月期 第2四半期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆ ☆	

資産・資本効率	2015年3月期 第2四半期	☆ ☆
	2014年3月期 第2四半期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。☆が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2015年3月期中間連結決算におけるRM財務格付は、Ⅰ～Ⅳの4段階中、最高位の「Ⅰ」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、無借金状態にあり、自己資本比率88.3%と2014年3月期連結決算に引き続き、きわめて高い安全性水準となっている。

流動性に関しては、連結決算で現預金残高2,451百万円を保有し、流動比率794.1%、当座比率775.0%と十分な資金繰り余力を有している。

総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比108.9%の増収推移となり、売上高四半期純利益率では、6.2%（前年同期）から7.1%（当期）へ0.9ポイント向上した。

これは、BPOサービス事業の受注回復に加え、与信管理サービス事業における前期実施の先行投資効果によるものであるが、一方で、通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

通期連結業績予想値を用いて算出した、資産効率と収益性を示すROAが3.1%と平均的な水準にとどまっている点については、ROAの構成要素である総資本回転率が0.62回と低水準にあることが原因であると考えられ、前期に引き続き課題として挙げられる。現預金等の当座資産が厚く、資金繰りに余力を有する反面、それらの資産が十分に運用されていないことが原因として推測されるため、今後はより高い資産効率が求められよう。

(単位 : 千円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額
営業活動	169,736	102,062	△67,673
投資活動	△60,977	△103,637	△42,659
財務活動	△307	△111,011	△110,703
現金に係る 換算差額	1,920	1,702	△218
現金増減額	110,370	△110,884	△221,255
現期首残高	2,184,456	2,561,571	377,115
現期末残高	2,294,827	2,450,687	155,860

◆営業活動

税金等調整前四半期純利益	158,539
減価償却費	123,629
売上債権の増加額	△132,616
法人税等の支払額	△68,630

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△23,313
無形固定資産の取得による支出	△126,524
投資有価証券の売却による収入	38,480

◆財務活動

配当金の支払額	△35,547
自己株式の取得による支出	△76,362

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン(2011年～2015年)

1. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供し、頼られる企業を目指す。
2. 既存事業の収益を安定成長させながら、安定的な事業規模を目指す。
3. 海外事業、海外ネットワークを展開する。
4. 継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。

第3次中期経営計画(2011年～2013年度)

第3次中期経営計画(2011～2013)の成果と基本方針を継承・発展させるとともに、先行き不透明感に対応する。

従来の計画を1年短縮し、2ヶ年を計画期間とした

再チャレンジ「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」策定

<p>規模・株式市場</p>	<p>既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。</p>	
<p>財務 キャッシュ・フロー 方針</p>	<p>既存事業の安定成長基盤投資</p>	<p>➤ 営業キャッシュ・フロー内での運用。</p>
	<p>事業ごとの配分</p>	<p>➤ 経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。</p>
	<p>新規事業投資</p>	<p>➤ 投資目標金額を設定し、積極的に投資する。</p>
<p>資本業務 提携方針</p>	<p>シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。</p>	
<p>配 当</p>	<p>配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。</p>	

	方針	狙い
与信管理 サービス事業 	BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮	限界利益率の向上を図る
ビジネスポータル 事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化	安定成長を目指す
	ポータル事業としての深化と強化を実現	サービスの浸透度を深める
BPOサービス 事業 	業務請負サービスでのシナジーの追求	グループのシナジー効果
	国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底	グループ全体のコスト削減に貢献
その他事業 	新規開発投資の再開及び事業の挺入れ	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力

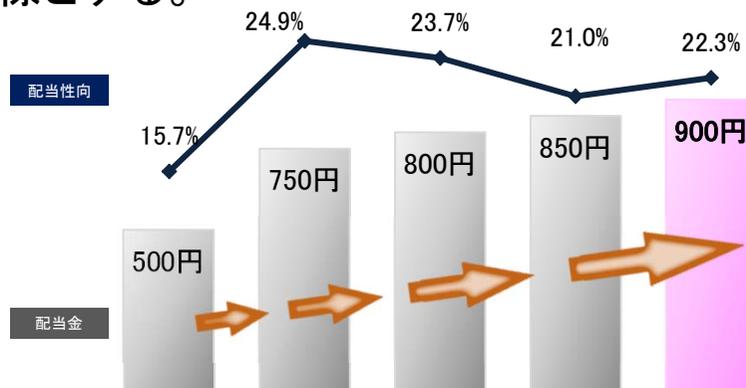
(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期実績	2015年3月期 予想	差額	進捗率
売上高	1,346	2,620	1,273	51.4%
営業利益	140	255	114	54.9%
経常利益	150	255	104	58.8%
当期(四半期)純利益	95	130	34	73.7%
1株当たり当期(四半期)純利益	23.12円	31.95円	8.83円	72.4%

- ・新2ヶ年計画「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」スタート
- ・会員企業様に最適のサービス・コンテンツを提供するための体制構築
- ・プロフェッショナルがあるサービスとわかりやすく使いやすいサービスの追求でユーザビリティと顧客満足度を向上させ、顧客単価のアップと低い退会率を維持
- ・積極的なアライアンスなどによる海外事業やネットワーク強化

2015年3月期 配当金予想

- ◆ 2015年3月期は1単元当たり900円（1株当たり9円）の配当を予定。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 中長期的には配当性向20%以上を目標とする。



	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
1単元当たり配当金	500円	750円	800円	850円	900円
配当性向	15.7%	24.9%	23.7%	21.0%	22.3%

(注) 1単元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有単元数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を実施しました。

2014年9月30日時点 自己株式の保有状況

■ 発行済株式総数(自己株式を除く)

4,068,700株

■ 自己株式数

134,000株

第14回 定時株主総会

2014年6月26日に開催された
第14回定時株主総会では前年を上回るたくさんの方にご来場いただきました。
また、あらたな取り組みとして当社主席アナリストによる倒産状況分析レポートの報告会と、各部門長による当社サービスと今後の事業戦略について事業説明会を実施いたしました。



<株主総会の様子>



<倒産状況分析レポート報告の様子>



<事業説明の様子>

リスモンちゃんねる 配信

いつでもインターネットで閲覧
することができる
「リスモンちゃんねる」で当社の
IR動画を配信しております。



<リスモンちゃんねる 2014 冬>



<インタビューの様子>



21.企業概要



(2014年9月末時点)

商号	リスクモンスター株式会社	主事業内容	与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)
設立	2000年9月	所在地	(本社) 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F (大阪支社) 大阪府中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F
代表者	代表取締役会長 菅野 健一 代表取締役社長 藤本 太一	連結子会社	リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询 有限公司
資本金	1,155,993千円	株式市場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード 3768
従業員数	97名(連結) 68名(単体)		
株主	株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&Aセンター リスクモンスター株式会社 藤本 太一 和田 成史 株式会社エヌアイディ ゴールドマンサックスインターナショナル (常任代理人ゴールドマン・サックス証券株式会社) 株式会社オービックビジネスコンサルタント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) テクマトリックス株式会社 ほか		



リスモン調べ 調査実績

第2回
『世界に誇れる
日本企業』
調査結果発表

第2回
『独創性を感じる
日本企業』
調査結果発表

第1回
『100年後も生き残ると
思う日本企業』
調査結果発表

2014年度
『RM会員アンケート』
調査結果発表

第1回
『海外取引・進出に
関する動向』
調査結果発表

第2回
『金持ち
企業ランキング』
調査結果発表



リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートです。
上期中に、計6件の調査結果を発表しました。

リスクモンスター株式会社

■ 『取引先リスク管理Q&A』



設立以来、お客様から頂いた「与信管理実務に関するお問い合わせ」を収集し、お問い合わせの頻度が高い順に掲載した与信管理の実務担当者のための手引書です。

■ 『リスクはじきに目を覚ます』 第2版



独自の格付システムで企業の与信管理のあり方に一石を投じたリスモンが、情報収集の方法、決算書の見方など取引先の分析におけるイロハから、企業における与信管理体制の構築、運用方法まで、実践的な指針を記した一冊であり、企業が取り組むべき与信管理のすべてがわかる内容となっております。

■ 『与信管理奮闘日記2』



2013年9月に出版いたしました「与信管理奮闘日記」の続編です。前回に引き続き、与信管理と言う業務を堅苦しい文章を用いずにライトタッチな小説に仕上げました。本作も与信管理に関する知識のある方はもちろん、知識のない方でも与信管理の世界の一端を感じて頂きながら、スラスラとお読みいただける一冊です。

リスクモンスター株式会社

■ JSBIZ信用調書

本サービスは、中国上海の大手企業調査会社である上海傑勝商務諮詢有限公司(JSBIZ)の信用調査レポートに、リスモン独自の企業判断指標である「RM格付」をつけてご提供する海外信用調査サービスです。

■ 主な特徴

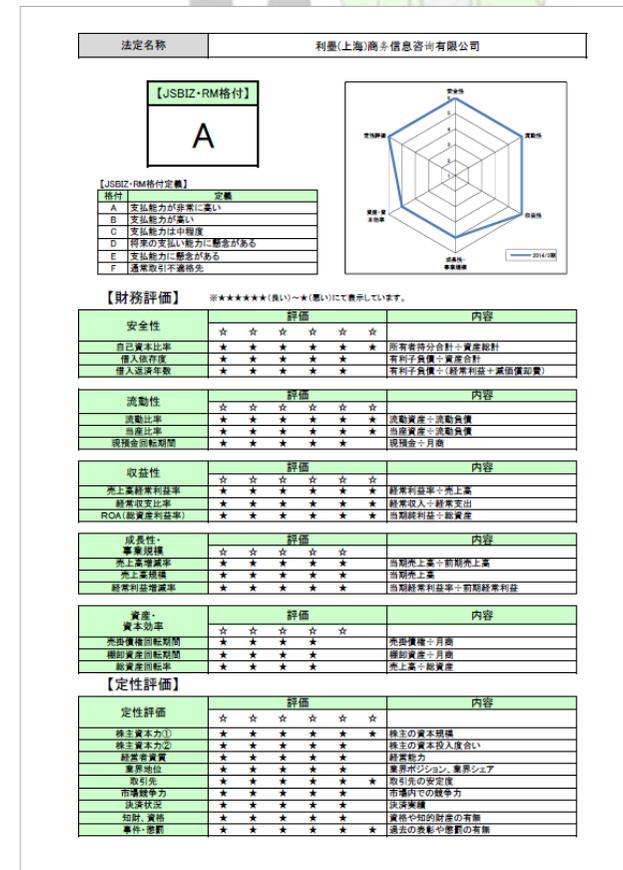
A～F格 6段階の使い慣れた指標

定量(財務)分析・定性は個別も評価

与信分析に必要な情報を網羅

日本語対応で低価格・早期納品

RM格付を導入の会員様にとっては、国内のお取引基準をそのままお使いいただくことができます！



< RM格付サンプル >

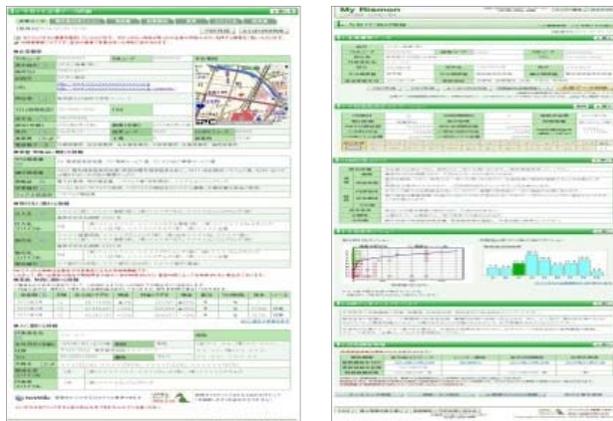
リスクモンスター株式会社

■ リスクモンスターご担当者向けポイントプログラムが『Pontaポイント』と連携

「Ponta(ポンタ)」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティングと提携し、リスクモンスター会員企業ご担当者様向けポイントプログラムにおいて『Pontaポイント』を導入いたしました。

■ サービス概要

リスクモンスターの企業情報サービス e-与信ナビ「格付画面」、「企業データ詳細」を1件取得していただくごとに、30ポイントの「Pontaポイント」をご利用者個人様に加算いたします。



e-与信ナビ「格付情報」「企業データ詳細」
取得



「Pontaポイント」登録

「Pontaポイント」とは？

様々なPonta提携企業で、ポイントをためる、つかうことができる共通ポイントサービスです。



リスクモンスター株式会社

■ ダイレクトメール発送機能付き新規開拓リスト作成クラウドサービス『DMの助』

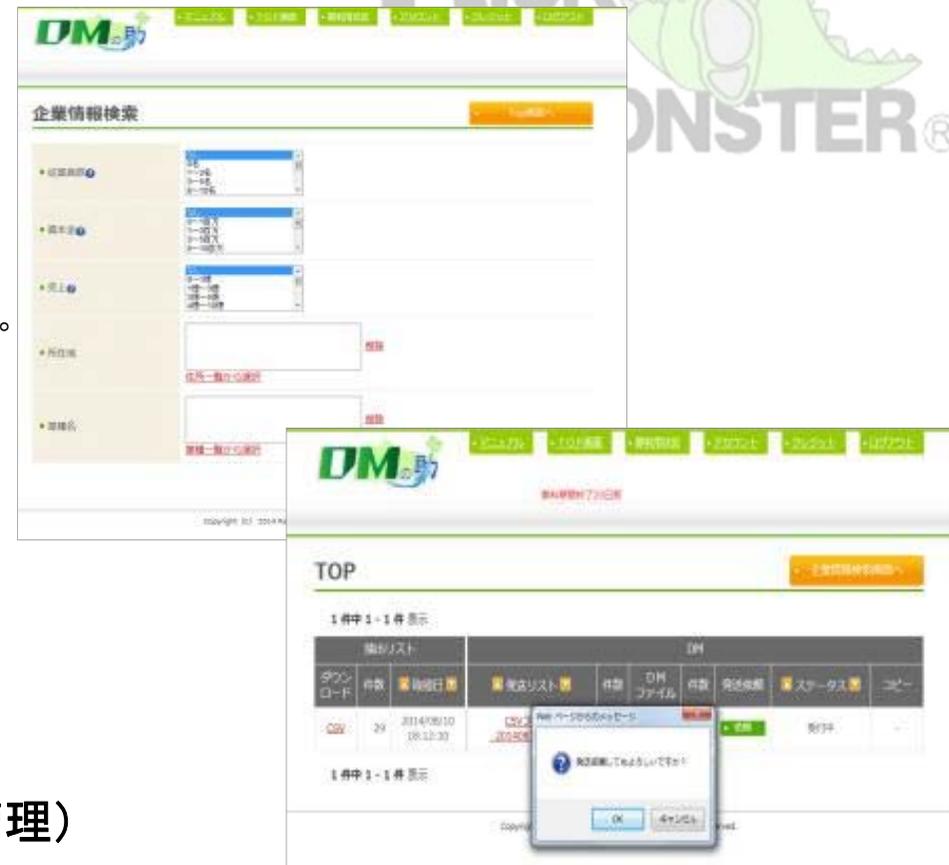
本サービスは、リスモングループの持つノウハウを集約して開発した、新規開拓リスト作成からDM作成・発送依頼まで工程をWeb上で管理できるサービスです。

■ 主な特徴

- ① **いつでも** 24時間・365日お好きな時にリスト作成・DM発送依頼可能です。
- ② **どこでも** Web上で新規開拓リストの作成からDM発送依頼までを行うことができます。
- ③ **簡単に** 情報管理機能によりリスト抽出状況、DM発送ステータスが管理できます。

■ 主な機能

- ★ 新規開拓リスト作成・ダウンロード
- ★ 抽出リストへのDM発送依頼機能
- ★ 発送用リスト置き換え機能
- ★ 情報管理(リスト抽出管理、DM発送管理)



< 操作画面イメージ >

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

■ J-MOTTO新グループウェア

新規ご入会向けに、株式会社ネオジャパン開発の「desknet's NEO」をベースとした新しいJ-MOTTOグループウェアのお申し込みを開始いたしました。基本機能の大幅強化に加え、コミュニケーションを改革する社内ソーシャル機能などの新機能を搭載しております。

■ 主な特徴

見やすく使いやすい
インターフェース

マルチデバイス対応で
リアルタイムに情報共有

英語インターフェース &
時差対応



< 機能一例 >



< 操作画面イメージ >

<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)
FAX : 03-6214-0366
Mail : ir@riskmonster.co.jp

【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.rismon-md.co.jp>

日本アウトソース株式会社 <http://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社 <http://www.cybax.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <https://www.j-motto.co.jp/cn>

